

き ふ ね 氣 生 根

参拝経路

- 京都駅・四条(烏丸)駅から地下鉄で国際会館駅下車、京都バス52系統乗換、貴船口下車、京都バス33系統乗換、貴船下車徒歩5分
- 叡山電鉄出町柳駅から鞍馬行き貴船口駅下車、京都バス33系統乗換、貴船下車徒歩5分

御祭神

本宮 高麗神たかかみのかみ (伊弉諾尊の御子神) 水の供給を司る
いわながひめのみこと 三つはなをさかめのみこと

結社 磐長姫命 (木花開耶姫命の姉神) えんむすびの神
たかおかみのかみ

奥宮 高麗神 (一説には閻魔神とも伝わる) 船玉神としての信仰も篤い
貴船神社の御祭神である高麗神は閻魔神とも伝われます。

社記には「呼び名は違っても同じ神なり」と記されています。
降雨・止雨を司る龍神であり、雲を呼び、雨を降らせ、陽を招き、降った雨を地中に蓄えさせて、それを少しづつ適量に湧き出させる働きを司る神です。一説には、高麗は「山上の龍神」、閻魔は「谷底暗闇の龍神」と言われています。

御神徳 運氣隆昌・えんむすび・諸願成就

おもふことなる川上にあとたれて貴布禰は人をわたすなりけり
(川上にお鎮まりになる貴船の神は、願ひ事を叶えて下さって人々を救いになられます)

「ともすらむ 方だにみえず鞍馬山 きふねの宮に とまりしぬべし」▼手明かりの先の鞍馬山も見えなくなってしまうました。今夜は貴船神社に泊まることとしましよう▼大河ドラマ『光る君へ』が大いに盛り上がりつつあります▼その登場人物の一人、女流歌人赤染衛門の歌です▼あの時代にもう既に山深い貴船に泊まれる施設(宿坊的なもの)があり、お参りの絶えない神社であったことが読み取れます▼そんな想いを馳せながら貴船を散策してみてください(大)



貴船神社 HP



公式YouTube

御由緒

鴨川の水源地にあたり、水の供給を司る神。古来より蒼生はもとより朝廷の御尊信も篤く、日照りや長雨、凶作や疫病などの国事多難克服の際天皇自ら勅使を遣わされご祈願あそばされた事が数百度にも及びました。

貴船神社の創建を明記するものは残っておらず、創建の年代は不詳です。

天武天皇白鳳六年（約一三〇〇年前）には、すでに御社殿造替が行われたとの社伝が存在することから、創建は極めて古いと考えられます。

貴船神社の起源については、貴船大神が御鎮座することになった伝説が社記に残されています。

「国家安穩 万民守護のため」

太古丑の年の丑の月の丑の日に、天上より貴船山中腹鏡岩に天降れり」

とあり、現在丑の日が縁日とされている所以でもあります。また別の伝説には、約一六〇〇年前に初代神武天皇の皇母である玉依姫命が

「吾は皇母玉依姫なり。恒に雨風を司り以て國を潤し土を養う。また黎民の諸願には福運を蒙らしむ。よって吾が船の止まる処に祠を造るべし」と宣り給い、現在の大坂湾から船に乗り、淀川、鴨川、貴船川を遡り、水源の地として現在の奥宮に至りました。

清水の湧き出る靈境吹井を見つけた玉依姫がここにひとつの祠を建てたのが、貴船神社の起源と伝えられています。

「きふね」は古くから気の生ずる根源として「氣生根」と記され、御神気に触れることで気が満ちるとされてきました。

御火焚祭盛大に

燃え盛る火の靈力により罪穢を祓い

清める御火焚祭が、紅葉の広がり始めた去る十一月七日、大勢の崇敬者を迎えて盛大に執りおこなわれました。また、この神事に合わせて御日供講員大祭もおこなわれ、日頃ご崇敬いただいている御日供講員皆様の無事ご安泰をも祈願させていただきました。

貴船神社の御祭神・高麗神（水の供給を司る神）は火の神からお生まれになりました。

『古事記』によると、伊弉諾命と伊弉冉命が力を合わせてこの地上にいろいろな神様をお生みになります。そして伊弉冉命が最後に火の神をお生みになったことにより、その火に焼かれてお亡くなりになりました。悲しまれた伊弉諾命が、火の神を憎いと思われて腰の剣で三つに切ってしまった、その一かけらから生まれたのが閻羅神（高麗、閻羅は同神）だと、そう記されており

ます。火も水も、生活になくってはならない大事な物ですが、火は使い方を間違えると大きな災いを招きます。その火を鎮めるのは水しかなく、火の神から水の



神が生まれて燃え盛る火を鎮めた、というわけです。

御火焚祭は、火の靈力により罪穢を祓い清めると共に、貴船大神のご出現を仰ぐ神事で、ご誕生の所作を繰り返すことにより、毎年毎年大神様により一層神威を高めていただき、そして新しいお力を我々にも注いでいただきます。そうして氣力を充実させようということです。

御祈禱のご案内

受付時間 9:00~15:30

事前予約や遠方の方で御祈禱を希望される方は、お電話にてお問い合わせください。
貴船神社社務所：075-741-2016
(電話受付時間 9:00~17:00)

御祈禱

家内安全や商売繁盛、心願成就、厄祓いなどあらゆるお願い事の御祈禱です。
初穂料 7,000円~お志

えんむすび祈禱

良縁成就や結婚成就、復縁成就など男女の御縁に関する御祈禱です。
初穂料 3,000円~お志



前号でもお伝えしました通り、貴船の杜づくり協議会を立ち上げ、今年はいよいよ神域・貴船山の再生に取り掛かり、四月には貴船山麓にて作業を行いました。この場所は度重なる水害や台風などにより谷に土砂が流れ出ており、数年前に治山工事として写真(左下)のように土砂が下流に流れ出ない工事を行った場所です。

これを砂防堰堤といい、川底が削られるのを防ぎ、また勾配がゆるくなることで水の流れを遅くするための工事です。台風などの災害の際に土砂崩れが下まで落ちなくなる効果がありますが、いわゆる「地表に蓋をする工事」のため、地層深くの水や空気が動かず、そのため周辺の植物も育ちにくい環境になっておりました。表層は乾燥し、また場所によっては停留した水が腐敗臭のような臭気を起こしている、明らかに自然の姿ではない状態でした。(左)



水場のすぐ脇は地面が乾燥し、植物も育ちにくい

たこと、感じたことを共有。それを改善するためにはどうしたらよいか、考えることで原因を理解し解決へと導く。今までとはまた違った「大地の再生」を行いました。また八月には「東海様のイベント「貴船の杜づくり」×「東海ワークショップ」も開催されました。これは日頃行っている大地の再生作業を一般の参加者、特に親子をメインに体験していただくとうと始まった夏休みの企画です。本宮本殿に正式参拝後、神域である貴船山に実際に入り山の観察やお手入れを通して自然を感じ、山の未来を考えるワークショップです。大げさな道具などは使わず手持ちのスcoopで軽く土を掘り、川からの水を別の場所へ引くことで、水の流れを変え空気を動かすことができます。その作業中、新しく作った水場にオニヤンマが産卵に現れました。きつと水と空気の流れを感じ取りやってきたのでしょうか。作業の締めくくりにはその日の体験を思い思いの絵にして一人ずつ発表。同じ作業を行っても一人ひとり見ているところが異なり、そこでも新しい発見が多くありました。今後も間口を広げ、杜づくりを体験していただけるイベントを企画してまいりますので、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

重森三玲 石庭

『天津磐境』

本宮の御神木である桂の横に小さいながらも昭和の名園の一つに数えられる石庭「天津磐境」があります。

この庭は現代作庭家の第一人者といわれた故・重森三玲氏の晩年の作品で、古代の人々が神祭りをおこなった神聖な祭場・磐境をイメージして昭和四十年に造られた石庭です。

庭に用いられている大小二十八个の石は、庭石、盆栽石の名石としてその数も少なく珍重されている「貴船石」で、名石保存のために作庭されました。

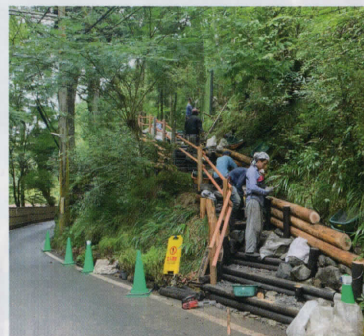
庭全体が船の形になっていて、中央には枝ぶり良く重厚な椿の樹が、船の帆立に見立てて植えられています。その樹は、神が御降臨になる樹・神籬でもあります。そして石庭の中に敷き詰められた赤みを帯びた砂は、これも庭石の名石として知られる地元鞍馬石を砕いたもので、主に盆栽に用



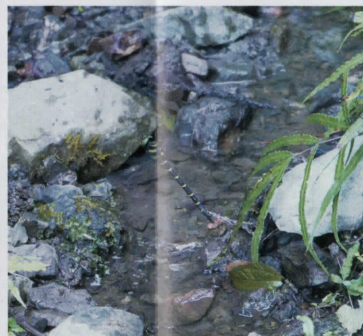
施工前

いる石です。飾り気のない庭ですが、貴船の自然が借景となつて四季折々落ち着いた風情を楽しませてくれます。

貴船石は、貴船の川でしか採取されない水成岩で、水に濡れるとみずみずしい紫色になることから「むらさき」ともいわれ、その中でも白い糸のような筋の入った「糸かけ」、緑色の混ざった「よもぎ」五色の色の「五色」などの貴船石があります。ここにはすべ



9月には結社北側に新たな参道が



オニヤンマが産卵に



現状を観察、話し合い



本宮本殿上 鈴鹿谷の調査

ての種類の花が集められています。今まではどれも苔むして判別はできませんでしたが、きれいに取り除き全て見ることができます。是非とも足を止めてじっくり観察してみてください。なお、庭が船の形になっているのは、神武天皇の皇母・玉依姫命が、浪速の津から水源を求めて黄船に乗つてこの地にやって来られたという神社創建の伝承にちなんでいます。



保全のための苔取りの様子

積雪日限定ライトアップ

貴船神社では一月〜二月に積雪日の土日限定でライトアップを行っており、近年周知されてきたおかげもあり積雪の際は沢山の方がお見えになります。

積雪日ライトアップ開催時、京都バス様による臨時の運行延長が行われますので、ご来社の際は公共交通機関をご利用ください。とはいえ降雪は自然のことですので土日にも必ず開催できる保証はございません。開催の可否に関わらず当神社 SNS(X, Facebook)にて告知いたしますので、ご覧ください。

ライトアップは本宮境内地のみですが、雪化粧をした奥宮も大変情緒を感じられますので是非お参りください。



貴船神社×JR東海

ひかりの京都

毎年七月になると境内に短冊笹飾りを設置し「七夕笹飾りライトアップ」を行っております。

本年はそれに加えて「東海様のご協力のもと「ひかりの京都」を七月一日から三十一日に開催いたしました。本宮、奥宮に加えて貴船町内の協力のもと貴船一帯で竹飾りなどの装飾をし、賑々しく貴船の夏を彩りました。

お越しになつた方も大変にお楽しみいただけますよう、実施報告によりますと、国内はもちろん国外からの観光の方も多く訪れ、例年とは比べ物にならない参拝者数となつたとのこと。特に地域の叡山電車様・京都バス様のご協力もありアクセス部分も含め全体で満足感のあるイベントとなりました。

今年だけの開催となりましたが、今後もこのような新しい催しを行い、ご参拝の皆様にお楽しみいただけたらと考えております。



幻想的に照らされた結社